



100BASE-TX/10BASE-T LAN
CardBus PC Card

REX-CB80W

PowerBook 用インストールガイド



第 1.0 版
1999 年 2 月

REX-CB80W PowerBook 用インストールガイド

本書は、REX-CB80W の PowerBook でのご使用方法について記述しています。

- セットアップ 本製品をパソコンに装着するための準備、インストール手順および注意事項を示します。
- トラブルシューティング 問題発生時の対処方法を示します。
- 設定ユーティリティについて ご使用の環境で起こり得る問題を解決していただくためのユーティリティについて示します。

第 1 章	セットアップ	2
1-1.	MacOS の確認	2
1-2.	PC カードスロットの確認	2
1-3.	ドライバのインストールと接続の確認	2
1-4.	ご使用上の注意	5
第 2 章	トラブルシューティング	6
2-1.	REX-CB80 が認識されない場合	6
2-2.	LAN に接続できない場合	6
2-3.	PC カードが非常に熱くなる場合	6
第 3 章	設定ユーティリティについて	7
3-1.	設定ユーティリティ使用上の注意	7
3-2.	設定ユーティリティの使用方法	8
3-3.	設定ユーティリティーエラーメッセージについて	9
第 4 章	製品に関するお問い合わせ	10

第1章 セットアップ

1-1. MacOS の確認

REX-CB80 をご使用になるコンピュータの MacOS のバージョンを調べてください。
REX-CB80 が動作するためには、MacOS のバージョンが 8.1 以上である必要があります。
確認方法 : アップルメニュー「このコンピュータについて...」の項目に記載されています。

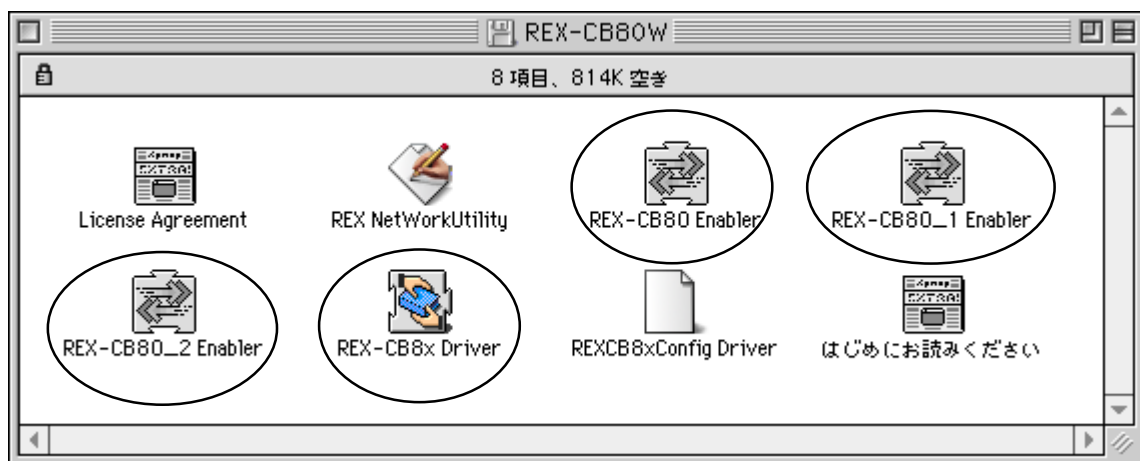
1-2. PC カードスロットの確認

ご使用のコンピュータが CardBus 対応であるかどうか確認してください。
CardBus 対応でない場合、REX-CB80 はご使用になれませんのでご注意ください。
確認方法 : ご使用のコンピュータのマニュアル等で確認してください。

1-3. ドライバのインストールと接続の確認

REX-CB80 を Macintosh で使用する場合のインストール手順を示します。

1. REX-CB80 を挿入せずにコンピュータを起動します。
添付のフロッピーディスク「セットアップディスク Macintosh 用」より、以下の4つのファイルをシステムフォルダの機能拡張にコピーします。
 - REX-CB80 Enabler
 - REX-CB80_1 Enabler
 - REX-CB80_2 Enabler
 - REX-CB8x Driver



コピーの方法についてはご使用のコンピュータのマニュアルをお読みください。

- システム終了を選択し、次に REX-CB80 を PC カードスロットに装着した状態でシステムを起動します。
- デスクトップに次のカードアイコンが表示されていることを確認します。



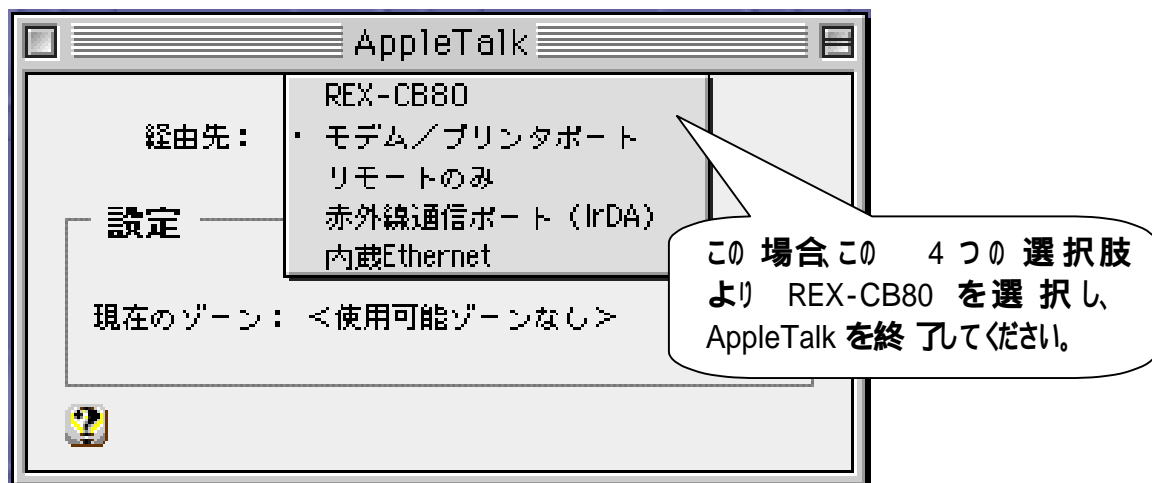
REX-CB80

もし表示されない場合は、REX-CB80 が確実に PC カードスロットに装着されているか、また、ドライバのコピーが正常に行われているかご確認ください。

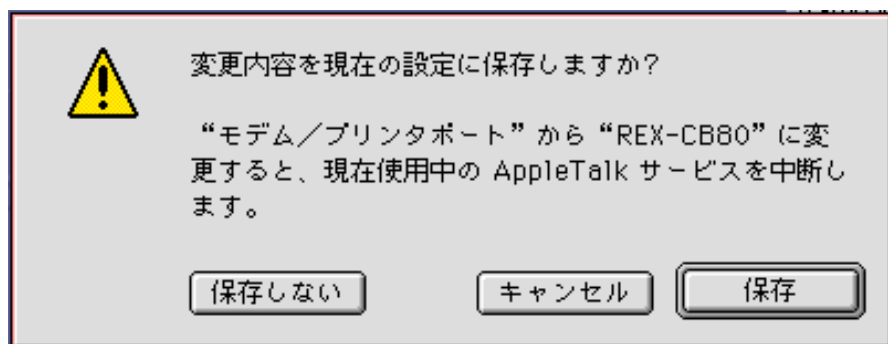
- コントロールパネルより AppleTalk を起動します。
以下のメッセージが表示されることがありますが、[はい]をクリックし、次へ進んでください。



- AppleTalk の画面が表示されます。経由先のボックスで「REX-CB80」を選択してください。



6. AppleTalk を他のネットワークで使用中の場合、以下の画面が表示されます。
[保存]をクリックして設定内容を保存します。



7. アップルメニューより「セクタ」を選択します。「AppleShare」を選択し、他のファイルサーバ等が表示されていることを確認ください。



8. 以上でインストールおよび接続の確認は終了です。
ご使用前に必ず「ご使用時の注意」をお読みください。
うまくいかなかった場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。

1-4. ご使用上の注意

ご使用になる時には、以下のことにご注意ください。

1. 差し込む方向は1方向のみです 逆方向に差し込まないでください。カードの形状上、差し込めないようにはなっていますが、無理矢理差し込んだ場合、コンピュータ本体、PC カード共に破損する場合があります。（保証対象外の修理となりますのでご注意ください。）
2. 添付ケーブルと PC カードを接続、取り外しする際には、コネクタの両側のボタンを押した状態で行ってください。無理矢理コネクタの接続、取り外しを行うと PC カード、コネクタ共に破損する恐れがあります。（保証対象外の修理となりますのでご注意ください。）
3. 本製品を取り出す時は、必ず、デスクトップに表示されているサーバーなどのアイコン等をごみ箱に入れてから、REX-CB80 のアイコンをごみ箱に入れてください。
4. 使用していた PC カードの表面がかなり熱くなる場合がありますので、PC カードスロットより PC カードを取り外す際には、カードアイコンをごみ箱に捨てた後、PC カードの両端を指で挟むようにして取り出してください。

第2章 トラブルシューティング

このセクションではご使用のネットワーク環境で REX-CB80 が使用できなかった場合の対処方法についてまとめてあります。問題が発生した場合は、ご参照の上、対処してください。

2-1. REX-CB80 が認識されない場合

- Q. REX-CB80 を認識しません。
- A. ご使用のパソコンが CardBus 対応であるかご確認ください。
CardBus 対応でない場合、REX-CB80 はご使用になれません。
- A. ドライバー、Enabler ファイルをシステムフォルダの機能拡張フォルダにコピーしたことをご確認ください。

2-2. LAN に接続できない場合

- Q. 既存の LAN に接続できません。
- A. REX-CB80 と Hub は正しく接続されていることをご確認ください。
コネクタを Hub に「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- A. AppleTalk, TCP/IP が正しく設定されていることをご確認ください。
ご使用環境にあった設定をしてください。
- A. Hub がオートネゴシエーションタイプではないかご確認ください。
ご使用の Hub がオートネゴシエーション対応の Hub の場合、自動速度検出、切替えが正しく行えない場合があります。
設定ユーティリティにて REX-CB80 の Connection Type の項目で速度を固定にしてお使いください。

2-3. PC カードが非常に熱くなる場合

- Q. REX-CB80 が非常に熱くなります。
- A. 故障ではございません。
ご使用の機種によっては REX-CB80 が熱くなることがあります。

上記対応を行っても、解決できない場合は弊社サポートセンターにご連絡ください。

第3章 設定ユーティリティについて

3-1. 設定ユーティリティ使用上の注意

- 設定ユーティリティを使用する際にはカードを本体に挿入した状態で使用してください。また設定変更中にカードを抜かないでください。
- 設定ユーティリティ起動中にカードの抜き差しはしないでください。
- 設定ユーティリティを起動する時は、接続されているネットワークをすべて解除し、ネットワークを使用しない状態にしておいてください。
- 設定変更後、カードを一度本体より抜くか、本体の再起動をしない限り設定は有効になりません。すぐに設定を有効にしたい場合。一度カードを抜き、もう一度差し込んでください。
- 設定データの書き込みに失敗すると、カードが使用できなくなる場合がありますので使用中のアプリケーションなどはすべて終了しておいてください。

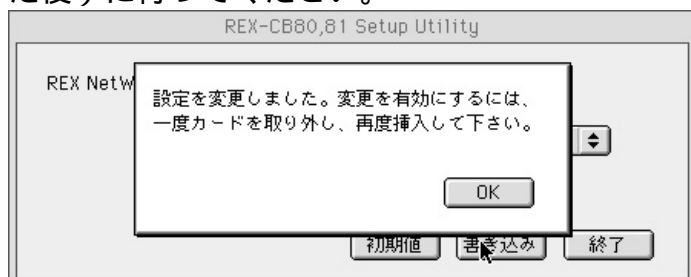
設定ユーティリティを起動すると以下のような画面になります。設定を行う場合には [OK] をクリックしてください。



この画面上で REX-CB80 の設定を変更します。詳しくは「設定ユーティリティの使用方法」をご覧ください。

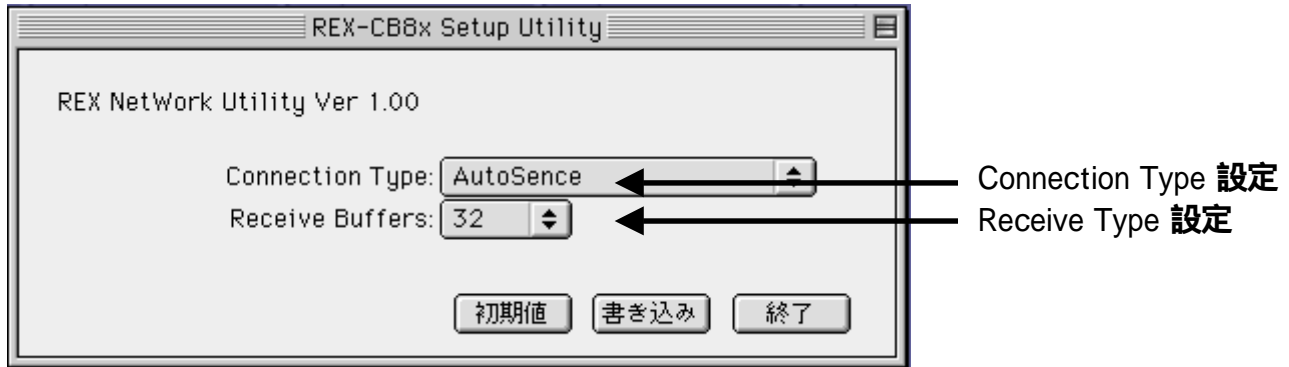


書き込みボタンを押した場合以下のようなダイアログが表示されます。ダイアログの指示に従い再挿入される場合は、[OK] ボタンを押した後（設定ユーティリティを終了した後）に行ってください。



3-2. 設定ユーティリティの使用方法

REX-CB80 に付属しているユーティリティを使用し、以下のような設定が可能です。
特に設定の必要のない場合には使用する必要はありません。



Connection Type 設定

REX-CB80 はオートネゴシエーション（自動速度検出、自動速度切替方式）を採用していますが、オートネゴシエーション機能をもつ Hub との間で正常に自動速度切替えができない場合がございます。その際に自動速度切替えを行わないようにすることができます。ご使用の Hub のタイプに設定してください。

設定値

AutoSense	自動速度検出、自動速度切替を行います。
100BaseTX	100BaseTX モード固定で動作します。
100BaseTX FullDuplex	100BaseTX 全二重モード固定で動作します。
10BaseT TwistPair	10BaseT モード固定で動作します。
10BaseT FullDuplex	10BaseT 全二重モード固定で動作します。

Receive Buffers 設定

受信パケットバッファの個数を指定します。受信パケットバッファの個数を大きくすれば1度に送られてくるパケットの取得量が増大しますがメモリの消費量が増えてしまいます。また1度に送られてくるパケット量より受信パケットバッファの個数を小さくするとデータの取りこぼしが起こってしまいます。

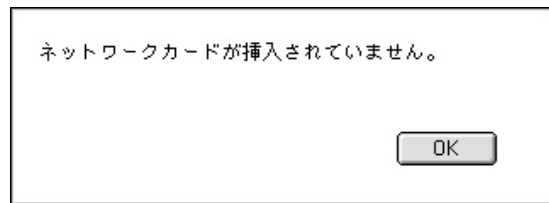
最適な受信バッファを設定することで、メモリの消費量を最小限に抑えることができます。

設定値

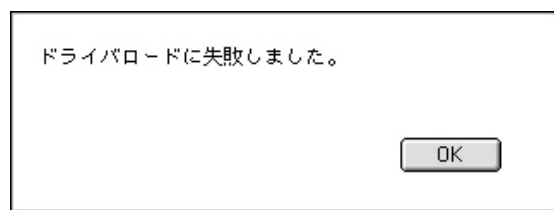
8 ~ 32	受信パケットバッファの個数
--------	---------------

3-3. 設定ユーティリティエラーメッセージについて

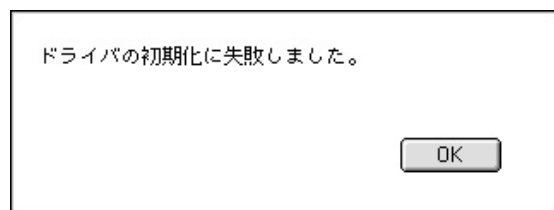
何か異常が起きた場合以下のようなダイアログボックスが表示されます。
エラーが起きた場合は、各エラーの指示に従ってください。



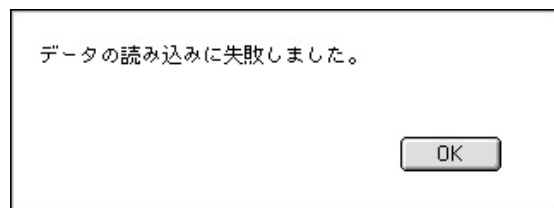
カードが挿入されていません。カードを挿入し再度実行してください。



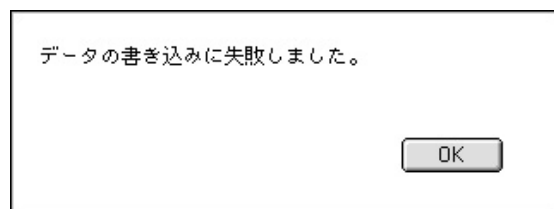
ユーティリティ内で使用するドライバファイル REXCB8XconfigDriver が存在しないか、カードが挿入されていないことが考えられます。カードを挿入してください。



ユーティリティ内で使用するドライバファイル REXCB8XconfigDriver が存在しないか、カードが挿入されていないことが考えられます。ドライバファイルをユーティリティと同じフォルダに置いてください。



ユーティリティを終了させ、カードを抜いてください。その後カードを挿入しカードが正常に動作するのを確認した後、再度ユーティリティを実行してください。



ユーティリティを終了させ、カードを抜いてください。その後カードを挿入しカードが正常に動作するのを確認した後、再度ユーティリティを実行してください。

上記エラーによる対応を行ってもユーティリティを使用できない場合は、弊社サポートセンターにまでご連絡ください。（ 但し 故障の際は有償になる場合があります。 ）

第4章 製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問等がございましたら、下記まで電話、手紙または FAX でお問い合わせください。

ラトックシステム株式会社 サポートセンター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1 - 6 - 14 朝日なんばビル
(TEL) 06-6633-6766 (FAX) 06-6633-3553
土日祝を除く月～金の 10:00～17:00
FAX での受け付けは 24 時間行っております。

インターネットのホームページでも最新の情報などをお届けしています。

<http://www.rexpccard.co.jp>

また、NIFTY Serve の以下のフォーラムでも受け付けております。

NIFTY Serve PC Vendor Station E (SPCVE)
電子会議室 8 番「ユーザサポート」

お問い合わせの際には、ユーザズマニュアル巻末の「質問用紙」に必要事項をご記入の上、上記 FAX 番号までお送りください。折り返し弊社より電話または FAX にて回答させていただきます。

また、ご質問に対する回答は上記営業時間内の処理となりますのでご了承ください。ご質問の内容によってテスト・チェック等の関係上、時間がかかる場合がありますのでご了承ください。

サポートに関する物品の送料等はお客様負担となりますので、予めご了承ください。

Copyright (C) 1999 RATOC Systems, Inc.